

## 体験型サイバーセキュリティセミナー

滋賀県警では、事業者向けの体験型サイバーセキュリティセミナーを随時開催しております。サイバー攻撃は、今や、大企業や特定の事業者だけが受けるものではありません。しかも、攻撃は、海外を経由して行われたり、第三者のコンピュータを乗っ取って行われたりして、非常に巧妙化しています。

ひとたび、攻撃を受けると、情報漏えい、システム停止が発生してしまいます。

また、サプライチェーン経由で被害が拡大するなど、影響は大きくなる傾向にあります。サイバーセキュリティ対策は、経営者レベル、管理者レベル、従業員レベルで様々ありますが、もはや、事業活動の必須事項です。

セミナーを通して、サイバーセキュリティ対策について考えてみませんか？



### セミナー概要

注目の脅威を体験できます。  
サイバーセキュリティ対策のポイントをご説明します。

#### 【体験】

- 1 サポート詐欺（画面に警告画面が出たら・・・）
- 2 ランサムウェア感染（データが暗号化されたら・・・）
- 3 標的型メール攻撃体験（ファイル偽装とは・・・）

費用無料、県内出張します。  
開催は、個別に調整しています。  
お問い合わせは、下記連絡先をお願いします。



### 受講者の声

ウイルスは実際の場面では体験できないので、今回の講座で体験できてよかった。



体験型がわかりやすくてよかった。具体的にイメージしやすかった。危険を見分ける方法が大変参考になった。

社内でも体験セミナーを企画してみたい。



日常的なメールのやりとりも、慎重に対応していかなければと思った。

ご参加、ご意見ありがとうございます。



脆弱性情報（緊急性、重要性の高い脆弱性情報等をピックアップしてご紹介します。）

#### ～Movable TypeのXMLRPC APIの脆弱性（2022年8月24日公表）～

シックス・アパート社が提供する「Movable Type」（コンテンツ管理システム）や「PowerCMS」について、重要な脆弱性情報が公表されていますので、当該製品を利用されている場合は、早急にアップデートをお願いします。

詳細は、必ず、公式サイト及びIPA、JVN、JPCERT/CC等の脆弱性情報提供サイトを確認してください。

サービス名、機器名 （影響を受けるソフトウェア）	脆弱性の概要 （悪用された場合の影響等）	CVE （共通脆弱性識別子）	対策 （修正プログラムの公開情報等）
・Movable Type 7 r.5301 ・Movable Type Advanced7系 ・Movable Type Premium Advanced 等	当該製品が動作するシステムに任意のPerlスクリプトやOSコマンドを実行されるおそれがある。	CVE-2022-38078 (CVSSスコア9.8) 等	当該製品のアップデート等

参照：JPCERT/CC「Movable TypeのXMLRPC APIの脆弱性に関する注意喚起」<https://www.jpccert.or.jp/at/2022/at22022.html>



#### ＜＜Windows8.1のサポートが令和5年1月10日に終了＞＞

サポートを終了したソフトウェアは、原則、脆弱性が発見されても更新されません。

ウイルス感染被害に遭う可能性も高まります。

対象のOSを利用されている場合は、最新版への移行等の対策をお願いします。早めに実施することをお勧めします。

＜＜CS情報SHIG@＞＞ SNSでのチケット売買は注意してください。詐欺やトラブルが発生しています。

滋賀県警察本部 サイバー犯罪対策課 077-522-1231（代表） 詳細は県警webページで →

